

シシと思われる加害個体については、専門家へ依頼し、罾で捕獲し、害獣として駆除をしています。

また、イノシシによる農作物の被害額は、令和4年度農業共済届け出の実績で水稻約21万9千円、豆類約1万5千円、果樹で約7万7千円と被害報告があつています。

対策については、イノシシ等の出没情報が役場に寄せられた際には、町民の皆さんの安全確保と人的被害の防止を最優先に地域住民への注意喚起として、防災無線、LINE、防災ネットあんあんでの情報発信、教育機関への注意喚起として、教育委員会、ひじり学園、保育園、後は現場確認を行つて、猟友会、白石警察署への連絡、注意喚起のためのパトロールを行つており、現地周辺を確認し、箱わなを設置できる適切な場所があれば設置し捕獲を行つていくと述べています。

②人間の生活圏内へのイ

ノシシ出没を防ぐためには、野生鳥獣が自由に餌を食べられない環境づくりが大事だと思つていきます。

そのため生活環境課では軒先ごみの収集を廃止し、ごみ集積ボックスを13箇所、14基、新たに設置したほか、今後は農作物残渣、放任果樹、市街地における生ごみの放置等、無意識の餌付けとなる行為をしないよう町民の皆さんの協力を得ながら周知を行つていきたいと思つています。

引き続き他の自治体の先進事例を情報収集していきたいと思つていきます。



高齢者の地域コミュニティの拡大と充実について

北沢 聡

議員 現在、要介護の家族をかかえていらっしゃる家

庭は少なくないかと存じます。

一方で日頃から活動的な方や外出の機会が多い方は高齢でも元気で過ごされています。

ひとりでも多くの方が高齢になられても、自宅にこもりがちにならぬよう地域の方や同じ高齢の方とのコミュニケーションの増進をはかり、活動的にすごされる結果として健康寿命を延ばすようになると、地域の趣味の会や集まりなどの活動の後押しを町として充実させてはどうでしょうか。その結果として、要介護の家族を抱える家庭も減るのではと考えます。

福祉課長 大町町第5次総合計画に掲げていますように、町では高齢者の皆さんが健康で生きがいを持ち安心して生活できるように各種の高齢者施策を進めているところですよ。

その中で地域コミュニティや健康寿命の延伸につながる高齢者施策の一部を

紹介します。

町民の皆さんが社会奉仕活動、教養講座開催活動又は健康増進活動などを通じて、災害発生時などにおいて共助の精神を発揮できるように、地区が主催する高齢者を中心とした地域の絆づくり活動の事業実施に当たり地域の方や同じ高齢の方とのコミュニケーションの増進をはかり、活動的にすごされる結果として健康寿命を延ばすようになると、地域の趣味の会や集まりなどの活動の後押しを町として充実させてはどうでしょうか。その結果として、要介護の家族を抱える家庭も減るのではと考えます。

次に、大町町老友クラブ連合会の事業として「老人趣味の会」のクラブ活動を推進されており、現在16クラブの方が老人福祉センター「ひじり」等において日々、健康づくりや頭の体操など、自主的に活動されています。また、町の行事においても日頃の活動の成果発表の場として吟詠、民謡、日本舞踊などそれぞれの趣味、得意な分野で行事に参加いただいています。老友クラブ連合会の事業実

施に対し、町としても高齢者生きがいと健康づくり活動助成金という形で支援させていただきます。



▲老人趣味の会の活動を披露

次に高齢者の皆様が主体となり、身近で気軽に集まることが出来る公民分館等において健康づくりの一環として「いきいき百歳体操」など、介護予防の活動に取り組まれています。

町としては、この事業実施に当たり、住民主体の通いの場推進事業補助金という形で支援させていただきます。

次に町内の社会福祉法人では、高齢者の移動支援を通じ介護予防を目的とし、自宅からサロンまでの無料送迎サービスを実施されて